

ご自由にお取りください

# ゆい ちゅうぶ

3 2019  
vol.60



pick up! H30年度 地域医療連携新春懇談会開催

催し物のご案内 3/19(火) 第112回 ゆんたく会  
【14:00～16:00 第3会議室】

4/23(火) 第113回 ゆんたく会  
【14:00～16:00 第3会議室】

シリーズ  
第5回

A day in the life of ... ~病院で活躍する職員の1日~

シリーズ  
第6回

コメディカルワンポイントアドバイス ~薬剤師~

表紙 Yurika Kobayashi

認定看護師ってなあに？ ~透析看護認定看護師のお仕事~



沖縄県立中部病院 広報誌  
Okinawa Chubu Hospital

pick up!

# H30年度 地域医療連携新春懇談会開催

平成31年1月17日(木)に「H30年度 地域医療連携新春懇談会」をヒルトン沖縄北谷リゾートにて開催いたしました。当日は、ご多忙の折にも関わらず200名以上のゲストにお越しいただきました。

プログラムは、来賓の島袋市長(うるま市)よりご挨拶や、中田会長(中部地区医師会)より乾杯のご挨拶を賜り、会に花を添えていただきました。

当院からは、3つのご報告および発表を行いました。

## 1:「中部病院の役割と地域との協働について」

総合診療科 本村 和久

"地域の皆様に支えて頂いている中部病院"の地域での役割について、地域医療支援病院としての「へき地医療」などを軸に発表を行いました。

## 2:「中部病院ハートチームホットライン(緊急時直通電話)」について

循環器内科 和氣 稔

心臓血管外科 天願 俊穂

## 3:かかりつけ医アンケートの結果報告

地域医療連携室 本仲 寛美

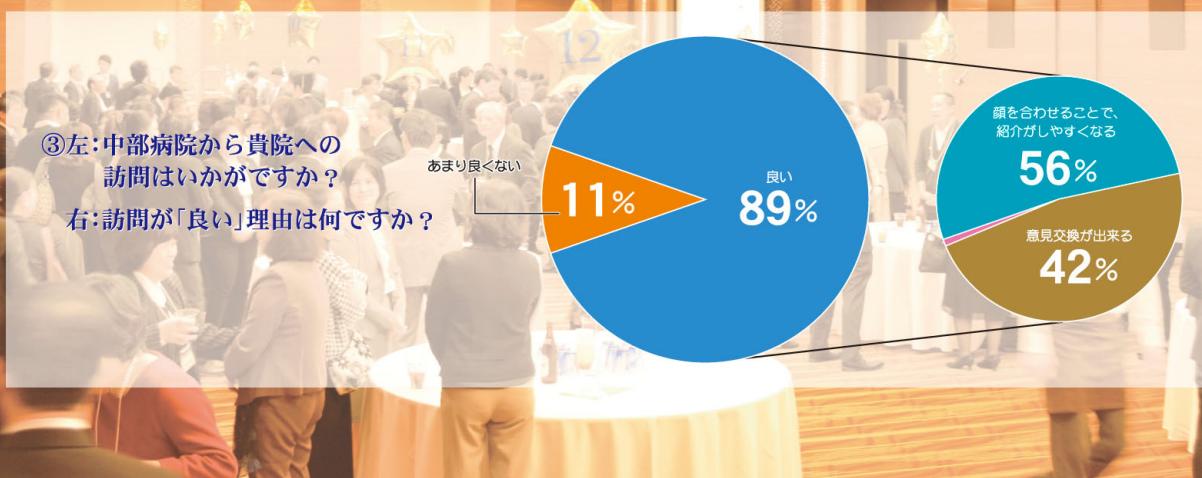
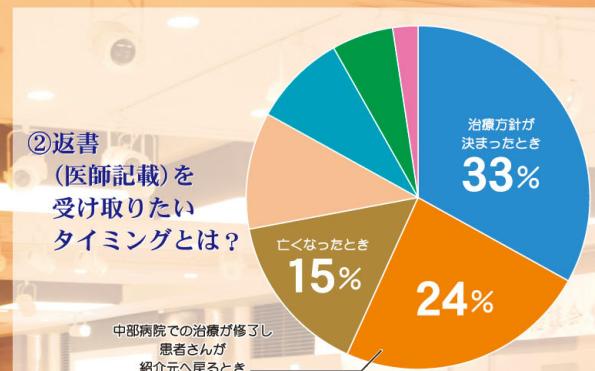
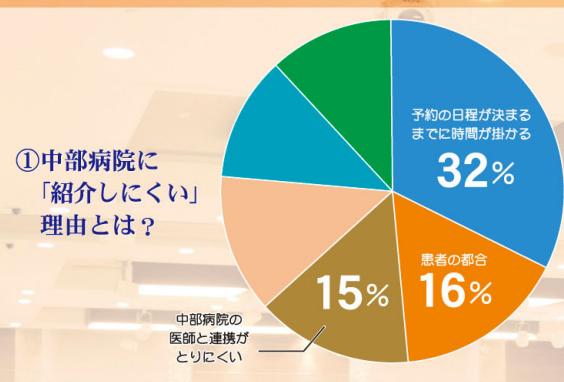
年末にかかりつけ医の先生方にご協力頂いたアンケート結果をご報告しました。(アンケート結果の一部は下図をご参照ください)  
頂戴した貴重なご意見につきましては、院内で改善を行っていく所存です。

当院にとりましては地域の皆様との、これからの一層の協働の大切さを再認識し、活発な意見交換ができ、また、新春の名通り大変華やかな会になりましたこと、心より御礼を申し上げます。

文責 沖縄県立中部病院 副院長 玉城 和光

## <アンケート結果(一部):アンケート回収率68%>

特に改善を行いたい ①紹介について ②返書について ③訪問について のご意見を掲載しております。



第5回

## A day in the life of ... ~病院で活躍する職員の1日~

### 臨床検査技師 の1日



6:45 出勤



7:00

機器の立ち上げ・  
精度管理

毎朝、患者さんの検体を測定する前に、測定機器のメンテナンスを行い、検査が正確にできるかの確認をしています。

7:30 外来採血スタート！



中部病院では、臨床検査技師が外来採血を行っています。(7:30～17:00)また、女性の検査技師はローテーションで産婦人科外来へ出張し、産科・婦人科の患者さんの糖負荷試験や採血、尿検査をしています。  
どこも朝は採血が大忙し！！

12:00 昼食

午後の業務に備えて  
しっかり休憩を(○)/



1般検査では膿液や尿、便検査を行います。  
尿検査では試験紙や顕微鏡を使って尿の成分を調べておおり、それによって腎臓の状態を知ることができます。

16:00 試薬作り・機械メンテナンス

翌日に備えて、検査に用いる試薬を作製したり、機械のメンテナンスを行います。毎日24時間稼働している検査機器のメンテナンスはとても重要！1日に2回(午前と午後)メンテナンスをするよう心がけています(\*^\_^\*)



8:45 検査科ミーティング

1日のスケジュールや委員会の報告、各部署の報告など様々な情報を共有し合っています。

9:00 検査業務(検体監査・鏡検)

血液検査では主に検体監査(機械で測定した値の確認)、鏡検(血液細胞の形態確認)を行っています。  
※鏡検:顕微鏡を使って検査や観察すること。必要に応じて、再検査や追加検査を行ったりしています。



14:30 病棟にて骨髄検査

担当医からの依頼を受けて病棟へ！骨髄穿刺にて採取した骨髄検体を検査科へ持ち帰り、血液疾患(白血病など)の有無やその状態をより詳しく調べています。



18:00 業務終了

定時で帰れるかと思いきや…、今日は骨髄検査の報告書を作成して担当医へ報告し、18:00に帰宅！日勤帯の他にも院内には毎日の時間帯でもすぐに検査ができるよう臨床検査技師が常駐しています。



### 腎代替療法 選択外来とは？

血液透析センター 透析看護認定看護師:大城 丁之

第6回

### 認定看護師ってなあに？

「認定看護師」とは、特定の領域に精通し、厳しい審査に合格したエキスパート看護師のことを言います！

現在、日本の慢性透析患者数は約32万人で沖縄県にはそのうち約4000人の患者さんがいらっしゃいます。そのほとんどが、血液透析(約97%)を選択されていますが、その他に自分の腹膜を使った腹膜透析という治療方法があります。

2007年の全腎協全国調査では、慢性透析患者さんの治療法選択の意思決定の際、十分な説明を受けて透析を選択した患者さんは4人に1人という報告があります。

その当時、当院においても血液透析を数十年受けている患者さんから「腹膜透析ってなに？」という問い合わせなどがあり、2009年9月「腎代替療法選択外来(腎サポート外来)」を開設しました。その中で腹膜透析を選択されたAさんの外来場面を紹介させていただきます。

【Aさんへの意思決定支援】

Aさんは某病院でシャント作成直前に納得できなくなり、セカンドオピニオンを求めて当院へ来院されました。Aさんに初めて会った印象は、顔色が悪く、軽度の息切れがあり、きつそうで早めの透析が必要なのではという印象でした。しかし、Aさんは、はっきりとした口調で「手術でベットへ上がったんですけど、納得できずにこちらにきました」と話されていました。前の病院では血液

透析一本で、腹膜透析の選択肢はなかったとのことでした。その後の面談で、血液透析以外に腹膜透析・腎移植があることを説明し、Aさんに合った治療方法と一緒に考えました。

Aさんの「現在の生活スタイルを維持し仕事を続けたい」との意思を尊重し、提案から2日後に腹膜透析の導入となりました。

当院では、患者さんの権利の中に「十分な説明を受けた上で検査・治療方法を自由に選択し決定する権利がある」と掲げています。腎サポート外来は、医療者と患者様がお互いに情報を共有し、一緒に治療方法について考え、決定していく事に取り組んでいます。

今後とも患者さんのより良い状態を考え、支援してまいりますので、治療についてお悩みの方はぜひ腎サポート外来をご予約ください。お待ちしています。

### 腎サポート外来のご案内

毎週火・金曜日：15時～(1時間程度)

※サポート外来は、予約制のため主治医へ確認  
よろしくお願ひします。

